高松キャンパス共通 平成29年度

1. 三角比(10) (1) 三角比, 三角比の拡張, 相互関係 2. 集合と論証(11) (1) 集合 (2) 命題と条件 (3) 論証 (3) 論証 (3) 禁験返却(1) (1) 集合と要素の個数 (2) 場合の数 (3) 順列 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4. 三角関数 I(9) (1) 一般角, 弧度法, 三角関数 前期末試験 計類末試験 試験返却(1) (1) 三角比の拡張, 相互関係 ・集合の記号を知り, 簡単な例に応用できる。 ・簡単な命題の真偽を判定でき,必要条件や十分条件が判別できる。 ・簡単な場合の数を計算できる。 ・順列組合せの基本を理解し, 簡単な計算に適用できる。 ・弧度法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・強度法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・強度法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・強度法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・強度法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・強度法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・対策法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・対策法で表された一般角の三角関数の値を計算できる。 ・対策を対象できる。 ・ 強力を対象を計算できる。 ・ 強力を対象を計算できる。 ・ 強力を対象を計算できる。 ・ 強力を対象を計算できる。・ ・ ・ 正弦で表された一般角の三角関数の値を計算できる。	高松キャ	ンパス共通						平成29年度	
# 日 名				中空 大幸					
学 年 1年 (0定) 学 期 通年 履修条件 必修 単位取分 運作取分 分 野 一般 授業形式 福日番号 17120005 単位取分 運作取分 工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作	科目名				担当教員	•			
分野	当 左				定收久从	<u> </u>			
### ### ### ### ### ### ### ### ### #								ŭ	
# 2	分 野							復修毕业	
 ・集合、論理、場合の数 数杯書に沿って講義をする。基本事項と例題を解説した後、問題演習を行う。適宜、レポートを課する。本事項と例題を解説した後、問題演習を行う。適宜、レポートを課する。本事項と例題を解説した後、問題演習を担意しています。 ・ 学習到達目標 ・ 三角比の定義を理解し、簡単な値を計算できる。生命と心話は(1) (1) 集合 (2) 命題と条件 (3) 論証 (4) 報合と場合の数(10) (5) 工項立理 (6) 工項立理 (7) 一般角、珈度法、三角関数 できる。 (9) 場合の数 (3) 順列 (4) 組合せ (5) 工項立理 (6) 工項立理 (7) 一般角、珈度法、三角関数 ができる。 (9) 上教育目標: (8-1) 学習・教育目標: (8-1) 学習・教育目標: (8-1) 学習・教育目標: (8-1) 学習・教育目標: (8-1) デー芸放定理を簡単な例に適用できる。・三角関数の値を計算できる。 ・三角関数 が相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 ・三角関数 が相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 ・三角関数 が配上のできる。・三角関数の値を計算できる。 ・三角関数の組石 関係を使い、三角関数の値を計算できる。・三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。・三角関数のを計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数のを計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数のを表には、第できる。・三角関数の値を計算できる。・三角関数のを表に変します。・三角関数のを表に変します。・三角関数のが表に変します。・三角関数を表に変します。・三角関数を含まれて変します。・三角関数を表に変します。・第で表に変します。・第	W 77 C 1				· ·				
選 め 方	字省日標								
# 80 万 す。 学習項目 (時間数) 学習到達目標									
学習到達目標	進め方								
### 2016	~_ *, *,	す。	」す。						
1. 三角比(10) (1) 三角比、三角比の拡張、相互関係 2. 集合と論証(11) (1) 集合 (2) 命題と条件 (3) 論証 (5) 前題と条件 (3) 論証 (6) 一項定理 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4) 三角関数 1(9) (1) 一般角、弧度法、三角関数 対験返却(1) (5) 四級定計量(12) (1) 三角比の復習 (2) 正弦定理、余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (4) 三角形の面積・空間図形の計量 (5) 平可配形(2) (1) 三角財数 1(27) (1) 三角関数 1(27) (1) 三角関数 1(27) (1) 三角関数 1(27) (1) 三角関数のグラフ (後期中間試験)(2) (2) 三角関数のグラフ (2) 正弦定理、余弦定理 (3) 三角形の重心・内心・外心 (5) 三角関数のがよるもお方程式・不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 (2) 三角関数のグラフ (3) 三角関数のグラフ (4) 無計・(6) (2) 三角関数の値を計算 (5) 三項定理 (6) 平面図形(2) (1) 三角財数 1(27) (1) 三角関数 1(27) (1) 三角関数の(10) (3) 三角関数のが出る (4) 加法定理と全の応用・演習 (2) 三角関数のが出る。 (3) 三角関数のが表生の応用・演習 (4) 加法定理とその応用・演習 (5) 平角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。・加法定理を発え、基本問題に適用できる。学習・教育目標: (B-1) (5) 対験返却(1) (6) 三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。学習・教育目標: (B-1) (5) 対験返却(1) (5) 三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。学習・教育目標: (B-1) (5) 対験を対し、(1) 年) (5) 対象のが簡単な方程式・不等式が解ける。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。学習・教育目標: (B-1) (5) 対象のが簡単な方程式・不等式が解ける。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。学習・教育目標: (B-1)			習項目(時間	数)		学習到達目標			
(1) 三角比の拡張、相互関係 2. 集合と論証(11) (1) 集合 (2) 命題と条件 (3) 論証 (前期中間散験(2) 深験返知(1) 3. 集合と場合の数(10) (1) 集合の数(10) (1) 集合と場合の数(10) (1) 無方の数(10) (1) 無方の数(10) (1) 一般角, 弧度法、三角関数(10) (1) 一般角, 弧度法、三角関数(10) (1) 一般角, 弧度法、三角関数(10) (1) 一般角, 弧度法、三角関数の値を計算できる。 ・ 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 ・ 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 ・ 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 ・ 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 ・ 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 ・ 三角関数の基本的なグラフが描ける。 ・ 三角関数の基本的なグラフが描ける。 ・ 三角関数の基本的なグラフが描ける。 ・ 三角関数の基本的なグラフが描ける。 ・ 三角関数の基本的なグラフが描ける。 ・ 三角関数の高神な方程式・不等式が解ける。・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・ 2智・教育目標: (B-1) 対験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式が解ける。・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 2智・教育目標: (B-1) 対験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式が解ける。・ 2音関数の簡単な方程式・不等式が解ける。・ 2音関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			ガイダンス(1)			・三角比の定義を理解し、簡単な値を計算でき			
2. 集合と論証(1) (1) 集合 (2) 命題と条件 (3) 論証 (3) 論証 (3) 論証 (4) 銀合と場合の数(10) (1) 集合と場合の数 (2) 場合の数 (3) 順列 (4) 銀合せ (5) 二項定理 (4. 三角関数 1(9) (1) 一般角, 弧度法, 三角関数 前別未設験 前別未設験 前別未設験 前別未設験 (3) 重角との後 (3) 重角とのと計算できる。 (2) 場合の数 (4) 銀合せ (5) 二項定理 (5) 二項定理 (6) 二項定理 (7) 一般角, 弧度法, 三角関数 前別未設験 前別未設験 (7) 一般角, 弧度法, 三角関数 (7) 一般角, 弧度法, 三角関数 (7) 一般角, 弧度法, 三角関数 (7) 一般角, 弧度法, 三角関数 (8) 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 (9) 三位定理 会校定理を簡単な例に適用できる。 (9) 三位定理 会校定理を簡単な例に適用できる。 (9) 三位に理 会校定理を簡単な例に適用できる。 (9) 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 (9) 三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計算できる。 (9) 三角関数の相互関係を含む。 (9) 三角関数の基本的なグラフが描ける。 (9) 三角関数の基本的なグラフが描ける。 (9) 三角関数の基本的なグラフが描ける。 (2) 三角関数のグラフ (3) 三角関数を含むが超式・不等式 (4) 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 (4) 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 (5) 平面方法 (4) 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 (5) 平面方法 (4) 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 (5) 平面方法 (4) 地対定理とその応用・演習 (5) 年間数と言なが解する。 (5) 年間数とが表述に適用できる。 (5) 年間数の簡単な方程式・不等式が解ける。 (6) 第一部が表述に適用できる。 (7) 第一部が表述に通用できる。 (7) 第一部が表述に適用できる。 (7) 第一部が表述に適用であれて適用できる。 (7) 第一部が表述に適用である。 (7) 第一部が表述に適用である。 (7) 第一部が表述に適用である。 (7) 第一部が表述に適用できる。 (7) 第一部が表述に適用できる。 (7) 第一部が表述に適用である。 (7) 第一部が表述に適用では、第一語が表述を表述と述述を表述を表述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述		1. 三角比(10)	1. 三角比(10)			・集合の記号を知り、簡単な例に応用できる。 ・簡単な命題の真偽を判定でき、必要条件や十分			
(1) 集合 (2) 命題と条件 (3) 論証 [前期中間試験](2) 計類の取(1) 3. 集合と場合の数(10) (1) 集合と要素の個数 (2) 場合の数 (3) 順列 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4. 三角開数 1(9) (1) 一般角、弧度法、三角関数 前期未影験 試験返却(1) (1) 三角比の復習 (2) 正弦定理、余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (5. 平面図形(2) (1) 三角財の重心・内心・外心 (7. 三角関数 11(27) (1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数の多さい方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 (2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 (4) 接触更知(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 (4) 接触更加(1) (5) 運搬表験 計算しておる。 (4) 対策を含む、自動数を含むが表表内容、問題集・参考書より出題する。試験の成績 90%、これに演習 5%、		(1) 三角比, 三	(1) 三角比,三角比の拡張,相互関係						
(2) 命題と条件 (3) 論証 [前期中間影験[2) 対験返却(1) (3. 集合と場合の数(10) (1) 集合と要素の個数 (2. 場合の数 (2. 場合の数 (3. 順列 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4. 三角関数 [19] (1) 一般角、弧度法、三角関数 前期未実験 対験返却(1) (1) 三角比の復習 (2. 正弦定理、会弦定理 (3. 三角形の重命・空間図形の計量 (6. 平面図形(2) (1) 三角形の重心・内心・外心 (7. 三角関数 II (27) (1) 三角財数 相互関係、性質 (2. 三角関数 (2) (2. 三角関数 II (27) (1) 三角影数 自見解、性質 (2. 三角関数の(2) (3. 三角関数 II (27) (4. 三角関数 II (27) (4. 三角関数 II (27) (5. 三角関数 II (27) (6. 三角関数の(2) (6. 平面図形(2) (7. 三角関数 II (27) (8. 三角関数の(2) (8. 三角関数の(4) (9. 三角関系の(4) (9. 三角関数の(4) (9. 三角関数の(4) (9. 三角関数の(4) (9. 三角関数の(4) (9. 三角関数の(4)		2. 集合と論証(11)			簡単な				
(3) 論証		(1) 集合	(1) 集合						
(3) 論証									
「前期中間試験] (2) 武験返却(1) ・簡単な場合の数を計算できる。 ・順列組合せの基本を理解し、簡単な計算に適月できる。 ・順列組合せの基本を理解し、簡単な計算に適月できる。 ・ 10 集合の数					学習・教	学習・教育目標: (B-1)			
試験返知(1)									
3. 集合と場合の数(10) (1) 集合と要素の個数 (2) 場合の数 (3) 順列 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4. 三角関数 1(9) (1) 一般角, 弧度法、三角関数 前期末試験 試験返却(1) (2) 正弦定理, 余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (4) 工作の選別(2) (1) 三角比の復習 (2) 正弦定理, 余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (4) 不可図形(2) (1) 三角関数 11(27) (1) 三角関数 11(27) (1) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 武験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 (2) 正対 表表と理解(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 (4) 加法定理とその応用・演習 (4) 加法定理とその応用・演習 (5) 不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 (5) 不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 (5) 不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 (5) 本書に関連を含え、基本問題に適用できる。 (5) 一部数の検討 90%、これに演習 93、表示に演習 93、教育目標: (B-1) (5) と言為関数の前単な方程式・不等式が解ける。 (5) 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 (6) 工作に演習 93、教育目標: (B-1) (6) 不等式が解ける。 (7) を書・教育目標: (B-1) (8) を書・教育目標: (B-1) (8) を書・教育目標: (B-1) (9) を書・教育目標: (B-1)						・簡単な場合の数を計算できる。			
(1) 集合と要素の個数 (2) 場合の数 (3) 順列 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4. 三角関数 I 9) (1) 一般角、弧度法、三角関数 前期末試験 試験返却(1) (2) 正弦定理、余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (6. 平面図形(2) (1) 三角関数の4カーフが描ける。 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (6. 平面図形(2) (1) 三角関数の4カーフが描ける。 (2) 三独勝数の4カーフが描ける。 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (5. 平面図形(2) (1) 三角関数の重心・内心・外心 (7. 三角関数 II (27) (1) 三角関数の手型 (2) 三独関数の4カーフ (3) 三角関数の4カーフ (3) 三角関数の4カーフ (4) 加法定理とその応用・演習 (を期中間試験1 (2) に対験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 (4) 加法定理とその応用・演習 (4) 本籍に関わり (4) 本語の取解は表別を含むが表別である。 (5) 本語の関係(2) に対験返却(1) (5) 本語の関係(2) に対象の格単な方程式・不等式が解ける。 (6) 本語の関係とする。 (5) 本語の関策に関わり (6) 本語の関策に関わり (6) 本語の関策に関わり (6) 本語の関策に関わり (6) 本語の関策に関わり (6) 本語の関策に関わり (6) 本語の関策に関わり、表別の成績 90%、これに演習 3%、提出物 5%を加え 100%とする。 (5) 本語の関策に関わり、表別の成績 90%、これに演習 3%、提出物 5%を加え 100%とする。 (5) 本語の関策に関わり、表別の成績 90%、これに演習 3%、提出物 5%を加え 100%とする。 (5) 本語の関策に関する、試験の成績 90%、これに演習 3%、基出物 5%を書:「改訂版ニューアクション ベーシック 1+A、II・B」(東書)	学習内容					・順列組合せの基本を理解し、簡単な計算に適用できる。 ・弧度法で表された一般角の三角関数の値を計算			
(2) 場合の数 (3) 順列 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4. 三角関数 I(9) (1) 一般角, 弧度法, 三角関数 前期未試験 前期未試験 計算と2 (2) 三角比の復習 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 (4. 平面図形(2) (1) 三角形の面積・空間図形の計量 (5. 平面図形(2) (1) 三角形の重心・内心・外心 (7. 三角関数 II(27) (1) 三角関数 相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ (2) 運動験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 (4) 加法定理とその応用・演習 (4) 一定期談験はおれまでの講義内容、問題集・参考書より出題する。試験の成績 90%、これに演習 5%、提出物 5%を加え 100%とする。 「関連科目 基礎数学 II(1年)→ 微分積分 I(2年) 数 材 教科書:「新編 数学 I, II, A] (東書) 問題集: Iアシストセレクト I+A, II」(東書)参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B] (東書)									
(3) 順列 (4) 組合せ (5) 二項定理 (4. 三角関数 [(9) (1) 一般角、弧度法、三角関数 前期末試験 試験返却(1) 5. 図形と計量(12) (1) 三角比の復習 (2) 正弦定理、余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 6. 平面図形(2) (1) 三角財数、相互関係、性質 (2) 三角関数 11(27) (1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験] (2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・液習 (4)加法定理とその応用・液習 (2) 無対試験 試験返却(1) (3) 三角関数のグラフ (4) がいた理とその応用・液習 (5) できる。 ・三角関数の框互関係を使い、三角関数の値を計算を使い、三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 一部は定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 一部は定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 一部は定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 三角関数の値を計算を使い、三角関数の値を計算を使い、三角関数の値を計算を使い、三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 ・ 一部は定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 一部は定理をでは、 1 一部は定理をでは、 2 回り表にでは、 2 回り表にでは、 2 回り表にでは、 2 回り表にでは、 3 回り表にでは、 4 回り表にでは、 3 回り表にでは、 4									
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##									
学習・教育目標: (B-1) 学習・教育目標: (B-1) 学習・教育目標: (B-1) 学習・教育目標: (B-1) 学習・教育目標: (B-1) ・正弦定理と余弦定理を簡単な例に適用できる。・三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を言算できる。・三角関数の基本的なグラフが描ける。・三角関数のが基本的なグラフが描ける。・三角関数のが基本的なグラフが描ける。・三角関数のが基本的なグラフが描ける。・三角関数のが表示という。 ・三角関数のが表示という。 ・三角関数のがあるという。 ・三角関数のがあるという。 ・三角関数のがあるという。 ・三角関数のがあるという。 ・三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。・加法定理を言え、基本問題に適用できる。・加法定理を言え、基本問題に適用できる。・加法定理を言え、基本問題に適用できる。・加法に真習・教育目標:(B-1) 学習・教育目標:(B-1) 学習・教育目標:(B-1) 学習・教育目標:(B-1) 学習・教育目標:(B-1) 学習・教育目標:(B-1) 財験に表記を加える。 世界によりに真言を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を					(0.00				
### ### ### ### ### ### ### ### ### #						学習・教育目標: (R-1)			
プロスタ					一十日 初	《月口/示·(D 1/			
新期末試験 計量(12)									
対験返却(1)									
5. 図形と計量(12) (1) 三角比の復習 (2) 正弦定理,余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 6. 平面図形(2) (1) 三角関数 II (27) (1) 三角関数 相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 武験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 (参期末試験 武験返却(1) 定期試験はそれまでの講義内容、問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%, これに演習 5%, 提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)					丁 北片	初日,人士六田	ナを出すたけっ	* カロベキッ	
(1) 三角比の復習 (2) 正弦定理,余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 6. 平面図形(2) (1) 三角形の重心・内心・外心 7. 三角関数 II (27) (1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 (差期試験におれまでの講義内容、問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%、これに演習 5%、提出物 5%を加え 100%とする。 (基準を表別では、						・三角関数の相互関係を使い、三角関数の値を計			
(2) 正弦定理, 余弦定理 (3) 三角形の面積・空間図形の計量 6. 平面図形(2) (1) 三角形の重心・内心・外心 7. 三角関数、II (27) (1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 討験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 後期末試験 討験返却(1) 定期試験はそれまでの講義内容、問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%、これに演習 3%、提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, AJ (東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+BJ (東書)									
(3) 三角形の面積・空間図形の計量 6. 平面図形(2) (1) 三角形の重心・内心・外心 7. 三角関数 II (27) (1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 (4) 加法定理とその応用・演習 (4) 加法定理とその応用・演習 (5) 一直の関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 (4) 加法定理とその応用・演習 (5) 一直の関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 (6) 一方法 (7) 一直の関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 (7) 一方は									
6. 平面図形(2) (1) 三角形の重心・内心・外心 7. 三角関数 II(27) (1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 ・ 三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 (4)加法定理とその応用・演習 ・ 海育目標:(B-1) を期末試験 試験返却(1) 定期試験はそれまでの講義内容、問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%、これに演習 5%、提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)		• • •			- 二角除	・二角関数の基本的なグラブが描ける。			
(1) 三角形の重心・内心・外心 7. 三角関数 II (27) (1) 三角関数, 相互関係, 性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 参期末試験 試験返却(1) を期末試験 試験返却(1) を期末試験 はそれまでの講義内容, 問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%, これに演習 5%, 提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1 年) → 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, AJ (東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)									
7. 三角関数 II (27) (1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験] (2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 ・ 三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。					₩± यत्र ±₩	2477 **** T.J. (D. 1)			
(1) 三角関数、相互関係、性質 (2) 三角関数のグラフ [後期中間試験](2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 ・ 一角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。					子首・教	子省・教育日標: (B-1)			
(2) 三角関数のグラフ [後期中間試験] (2) 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4)加法定理とその応用・演習 ・ 三角関数の簡単な方程式・不等式が解ける。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 ・ 加法定理を覚え、基本問題に適用できる。									
[後期中間試験] (2) 試験返却(1)									
 試験返却(1) (3) 三角関数を含む方程式・不等式									
(3) 三角関数を含む方程式・不等式 (4) 加法定理とその応用・演習 ・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。 学習・教育目標: (B-1) 後期末試験 武験返却(I) 正期試験はそれまでの講義内容、問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%、これに演習 5%、提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1年)→ 微分積分 I (2年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, AJ (東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+BJ (東書)									
(4)加法定理とその応用・演習						・加法定理を覚え、基本問題に適用できる。			
学習・教育目標: (B-1) 後期末試験 試験返却(1) 評価方法 定期試験はそれまでの講義内容,問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%,これに演習 5%,提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1年)→ 微分積分 I (2年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)					・加法定				
後期末試験 試験返却(1) 評価方法 定期試験はそれまでの講義内容,問題集・参考書より出題する. 試験の成績 90%,これに演習 5%,提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1年)→ 微分積分 I (2年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)		(4)加法定理とその応用・演習							
 試験返却(1) 評価方法 定期試験はそれまでの講義内容,問題集・参考書より出題する.試験の成績 90%,これに演習 5%,提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1年)→ 微分積分 I (2年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書) 					学習·教	学習・教育目標: (B−1)			
 評価方法 定期試験はそれまでの講義内容,問題集・参考書より出題する.試験の成績 90%,これに演習 5%,提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1年)→ 微分積分 I (2年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書) 									
 提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書) 		試験返却(1)							
 提出物 5%を加え 100%とする。 履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書) 		定期試験はそれまでの講義内容 問題集・参老書上り出題する 試験の成績 90% これに演習 5%							
履修要件 特になし 関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)	評価方法								
関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)		1た山物 30で加え	100/0C 9 る。						
関連科目 基礎数学 II (1 年)→ 微分積分 I (2 年) 教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)	= 45 = 71	de la							
教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)	履修安件	特になし							
教 材 教科書:「新編 数学 I, II, A」(東書) 問題集:「アシストセレクト I+A, II」(東書) 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)									
教 材 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)	関連科目	基礎数学 II (1年)→ 微分積分 I (2年)							
数 M 参考書:「改訂版ニューアクション ベーシック I+A, II+B」(東書)		数利書・「新絙 粉ヴェ II A」(审書)							
	教 材							た音/	
備 考		少与音・「以引加	(ーユーナクシ	・コン ・・・・・ンツ:	/ 1'A, 11 ⁺ D]	、米官ノ			
	備考								